

旭化成が2年連続9度目V  
女子も三井住友海上が2連覇達成

厚生労働大臣杯争奪第53回全日本実業柔道団体对抗大会は、5月31日と6月1日の両日、大阪・堺市の金岡公園体育館に男子98、女子13、計11チームが参加して熱戦を展開した。堺市は室町時代から江戸時代にかけて外国貿易で栄え、仁徳天皇陵など歴史を物語る古墳群から、茶器・刃物などの伝統工芸、そして与謝野晶子文芸館などでも有名な町。今年は9月に大阪市で開催される世界柔道選手権大会の日本代表が大挙エントリしているため、報道陣も目が離せない大会となり、更に盛り上がった。開会式恒例の年間最優秀選手表彰は、永



開会式であいさつする阿南惟正副会長



開会式で歓迎のあいさつをする木原敬介堺市長

野重雄杯にアジア競技大会無差別級優勝の井上康生5段（総合警備保障）が2年連続。宮崎輝杯はアジア大会48kg級優勝の北田佳世女子2段（ミキハウス）が初受賞となった。また、16回出場の木下英二選手（ブレイザーズ柔道クラブ）に功労賞が授与された。初日は男子第三部で了徳寺学園が4-0で初出場の今里園芸を退け、2年ぶり2度目の優勝。女子第一部リーグ戦は世界選手権代表3人を擁する三井住友海上が3戦全勝無失点で、2年連続2度目の優勝を飾った。

第53回 全日本実業柔道団体对抗大



平成14年度最優秀選手賞を受賞した井上康生・北田佳世両選手

最終日は男子第一部で旭化成が3-2で平成管財にあざやかな逆転劇を演じ、2年連続9度目の優勝を達成した。

女子第二部も初顔の松前柔道クラブが逆転でセコムの2連覇を阻止し、うれしい初優勝をものにした。

来年度の本大会は、17年ぶりに秋田県での開催となる。

世界選手権無差別級の代表を争う平成管財の鈴木桂治選手と総合警備保障の井上康生選手は、総合警備保障が準決勝で旭化成に負け直接対決はなかったものの、両者ともすばらしい試合を見せ会場を大いにわかせた。男子第二部は了徳寺学園AがダイコロAに①-①の内容勝ちで、初タイトルを獲得し



開会式

# 男子第一部

## 伝統の底力を発揮 旭化成2年連続9度目のV

決勝は旭化成と平成管財の対戦。先鋒窪田が開始早々に出足払いで有効を先取る。しかし、筒井は若さを利して反撃に転じ、右で奥襟を引き付ければ窪田の頭が下がり防御の姿勢で指導、重ねて片襟の反則が警告にまで発展した。窪田あせって挽回せんと前に出れば、残り8秒筒井の出足払いが技ありとなり総合勝ち。平成管財は、幸先のいい勝ち点をあげる。



大将戦 高橋対秋山、払腰見事に決まる



劇的な逆転優勝を飾った旭化成・高橋

続く次鋒戦、下出は練習で胸の筋肉を切り、痛み止めの注射を打つての強行出場。対する鈴木は、世界選手権代表の座を射止める為に気合十分。下出はベテランらしく真つ向から大内刈り、小内刈りで攻める。だが鈴木に場外際まで押され、踏み止まって耐えるところをうまく足車で合わされる。1分4秒、鈴木見事な一本勝ち。

0-2とリードされた旭化成だが、ここから反撃が始まる。中堅村元、1分過ぎ両者指導の後、村元が前に出て圧力をかければ、市ノ渡は守勢を重ね、何度も後退して2分49秒ついに注意を受ける。

1-2と盛り返した旭化成だが、まだ喜べない。次の相手はヨーロッパ選手権オーブン2位のデニス・バンダールゲスト（オ

ランダ）28歳、195cm、120kgだ。この暗雲を一掃したのが新鋭松山。恐れず仕掛けた支え釣り込み足にバンダールゲストはもろくも倒れ、松山そのまま抑え込みに入るが、3秒で解ける。右ひじを痛めたバンダールゲストに勢いは消え、全く松山のペース。

1分15秒には赤豊5秒ルール適用で指導を受ける。それでも左背負い投げ、大外刈りで一発逆転を狙ったが、松山防ぎ切る。その後、松山に指導、バンダールゲストに注意が与えられ時間となる。

2-2で迎えた大将戦。引き分ければ平成管財の内容勝ちになる。世界選手権81kg



第一部優勝の旭化成チーム

級代表の秋山を体力にまさる高橋が迫る展開となる。中盤、動きを封じられた秋山に消極的指導、そして注意が与えられる。終盤、秋山も取り返そうと前に出たところを、高橋がうまく右払腰に合わせて一本。旭化成、劇的な逆転での優勝となった。

井上康生の総合警備保障が準決勝で負けたため、井上対鈴木桂治の夢の対決は実現しなかったが、井上は「良い緊張感でやれた」というコメントどおり、抜群の強さで3戦全一本勝ち。鈴木も全て重量級相手に4戦全勝。「先生方が見ているので変な試合はできないという思いで戦った。内容も考えながら自分の柔道ができた」とコメント。下出は「桂治と当たって楽しんで試合ができた。負けてもさわやか」とコメントした。

### 優勝監督コメント

旭化成 中村佳央

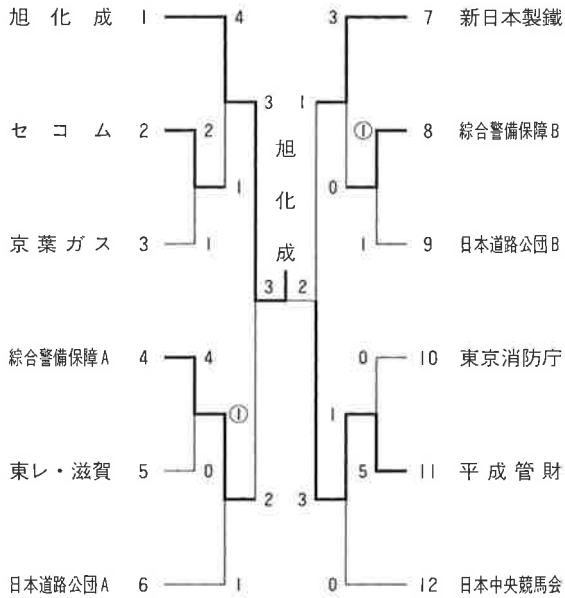
苦しかったが一番価値ある大会で最高の勝ち方ができた。レギュラー全員が負傷しており、最悪の調子で試合に臨んだが、悔いの残らないように戦えばいいと思っていた。ベテランの失点を残り3人が取り戻したが、大将の高橋は必ず何とかしてくれると確信していた。松山も大活躍してくれたが、今回は部員21名全員の気持ちが一丸となった勝利だと思っている。

実業団の一部優勝は、大変意味があると思っている。私もまだまだ現役として選手を引っ張り、来年V3を達成したい。



男子第一部成績表

優勝 旭化成  
準優勝 平成管財  
第3位 総合警備保障A  
第3位 新日本製鐵



【準決勝】

第1試合

旭化成 3-2 総合警備保障A  
○村元辰寛 4段 送襟絞め 近野貞治 3段  
高橋宏明 4段 反則勝ち 井上康生 5段○  
○窪田茂 5段 優勢勝ち 根岸篤史 3段  
松山毅 3段 上四方固 生田秀和 3段○  
○下出善紀 6段 優勢勝ち 小橋秀規 4段

第2試合

新日本製鐵 1-3 平成管財  
出口健三 4段 —×— 秋山成勲 3段  
高橋徳三 3段 内股 市ノ渡秀一 3段○  
落合幸治 3段 優勢勝ち 鈴木桂治 4段○  
永井亮平 3段 優勢勝ち 筒井宏樹 4段○  
○湊谷知幹 4段 優勢勝ち Dバンダールゲスト 3段

【決勝】

旭化成 3-2 平成管財  
窪田茂 5段 総合勝ち 筒井宏樹 4段○  
下出善紀 6段 足車 鈴木桂治 4段○  
○村元辰寛 4段 優勢勝ち 市ノ渡秀一 3段  
○松山毅 3段 優勢勝ち Dバンダールゲスト 3段  
○高橋宏明 4段 払腰 秋山成勲 3段

平成14年度 年間最優秀選手

〔永野重雄杯〕 井上康生 (総合警備保障)  
〔宮崎輝杯〕 北田佳世 (ミキハウス)



功 勞 賞

木下英二 (プレイヤーズ柔道クラブ・16回出場)

優 秀 選 手

〔男子〕 第一部

高橋宏明 (旭化成)  
村元辰寛 ( " )  
鈴木桂治 (平成管財)  
飛塚雅俊 (了徳寺学園)

筒井宏樹 (平成管財)  
井上康生 (総合警備保障A)

第二部

大野義啓 (ダイコロA)  
野瀬英豪 ( " )  
小林広幸 (今里園芸)

松村浩二 (旭化成)  
筒井友和 (セコム)

第三部

岩藤理恵 (三井住友海上火災保険)  
上野雅恵 ( " )  
江口啓 (松前柔道クラブ)

岡崎綾子 (ミキハウス)  
竹村智美 (セコム)

〔女子〕 第一部

寺山茜 ( " )

齋藤制剛 (旭化成)

第二部

小野卓志 (了徳寺学園)

桑原和寿 (九州電力)

# 男子 第二部

## 接戦制し

### 了徳寺学園Aが初優勝

決勝戦は、第一部復帰を優勝で飾りたいダイコロAと4人の強化選手を擁する了徳寺学園Aの対決となった。見ごたえのある好勝負が展開されたが、ポイントゲッター飛塚の活躍により了徳寺学園Aが初優勝を飾った。

先鋒は松本左、坂本右のけんか四つ。両者引き手が取れず注意を受ける。松本は内股、体落とし、坂本は小外掛け、内股で攻めるが引き分ける。

次鋒戦は右相四つ。平井より10cm長身の元世界代表飛塚が奥襟を握る。2分過ぎ、平井が後退するところを飛塚追い足鋭い大外刈りで見事な一本。了徳寺学園Aが貴重な先取点をあげる。

中堅戦は重量ある大村が左背負い、袖釣り込み腰。対する大金も右内股と大外刈りで互いに激しく攻め合うが決め手なく、引き分け。

副将戦は体力に優る軒沢が左内股、支え釣り込み足。これに対し寺田も左内股などで機を狙うが果たせず、両者警告まで進み引き分け。

大將戦は廣川がいきなり左の小内刈りで効果を奪う。大野反撃に移るが決め手を欠いて両者注意。終了直前の3分55秒、廣川の小外刈りを大外刈りに返すと、技有となるが反撃もここまで。この結果、①―①の内容差で了徳寺学園Aの初優勝となる。

#### 優勝監督コメント

了徳寺学園 山田利彦

去年は1回戦負けをしたので、その雪辱を必ず果たそう、今年は二―三部で同時優勝しようと呼びかけて試合に臨んだ。それで今日は全員気迫に満ちた試合をしてくれた。ただ、準決勝までは良かったけど決勝は少し慎重になり過ぎており、その点を反省している。チームとしては、やはり飛塚が一番安定していて、軸になってくれたことが良かった。

自分達の目標は、あくまでも一部優勝。来年は先輩チームの胸を借りて勝負したい。



第二部優勝の了徳寺学園Aチーム

#### 【決 勝】

- 了徳寺学園A ① - 1 ダイコロA  
 松本太一 3段 —×— 坂本道人 3段  
 ○飛塚雅俊 3段 大外刈り 平井浩一郎 5段  
 大村昌弘 3段 —×— 大金良二 3段  
 軒沢優太 3段 —×— 寺田裕志 4段  
 廣川充志 3段 優勢勝ち 大野義啓 3段 ⊖

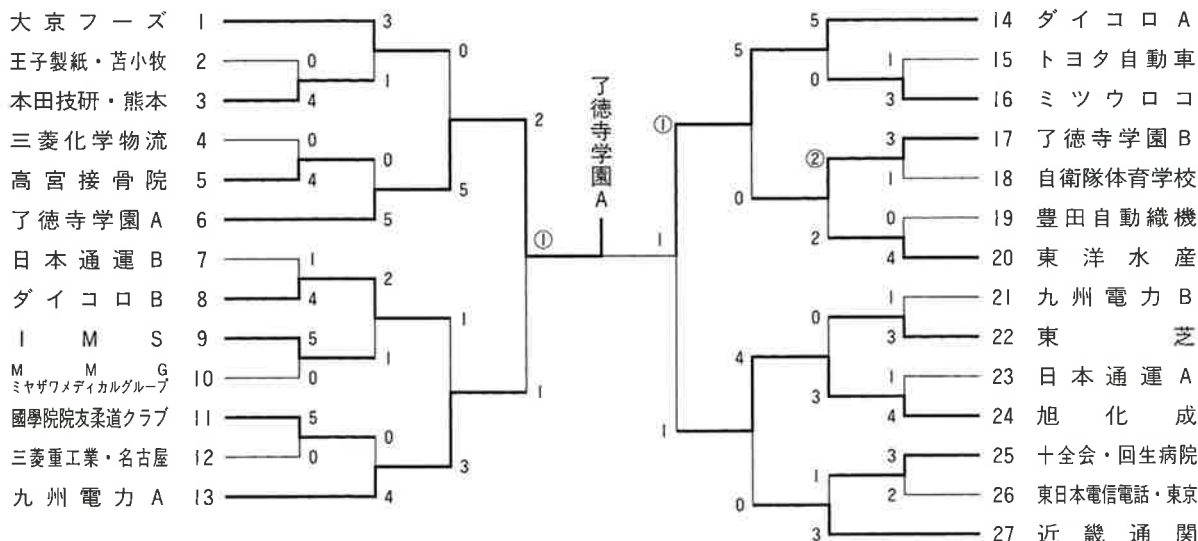
#### 男子第二部成績表

優勝 了徳寺学園A 第3位 九州電力A  
 準優勝 ダイコロA 第3位 旭化成

以上の4チームは次年度第一部に昇格する



飛塚の大外刈りが豪快に決まる



# 男子第三部

## 山田がバンダールゲストに先制 了徳寺学園2年ぶり2度目

決勝戦は、昨年準優勝の了徳寺学園と初出場の今里園芸の対戦となった。2人の強化選手を擁する了徳寺学園が平成管財からの移籍選手を中心に構成する今里園芸を圧倒し、初優勝を飾った。

先鋒戦は、ミュンヘン世界選手権大会100kg級オランダ代表のエルコ・バンダールゲスト対監督兼選手の山田の戦い。前半寝技に誘うバンダールゲストに対し、逆に山田が寝技で攻める。中盤、山田が十分な組み手になって左内股を放つと、これが見事に決まってチームを勢いづかせる先制点をあげる。

続く次鋒戦、中量級小野は体重差35kgをスピードでカバーし、組み際の右体落として効果を奪う。その後もスピーディーな動きで森川を翻弄し、優勢勝ちをおさめる。

中堅戦は左同士。開始30秒、今里の大小内刈りを野瀬が返して有効を奪う。その後も小内刈りなどで攻撃の手を緩めず、防戦一方の今里に注意が与えられる。この結果、了徳寺学園が早々に優勝を決めた。

副将戦は、両者交互に指導―注意で引き分け。

大將戦は、小林が強引な左大外刈りに来たところを岡本が巧みに体をひねり、返し技で一本勝ちし、優勝に花を添えた。

### 優勝監督コメント

了徳寺学園 山田利彦

あんなに見事に内股が決まったのは、現役時代も記憶にない。優勝に貢献できてうれしい。今年も昨年の反省を踏まえ、二部・三部アベック優勝を狙っていたので、達成できて本当にうれしい。



チームに弾みをつけた山田会心の内股



第三部優勝の了徳寺学園チーム

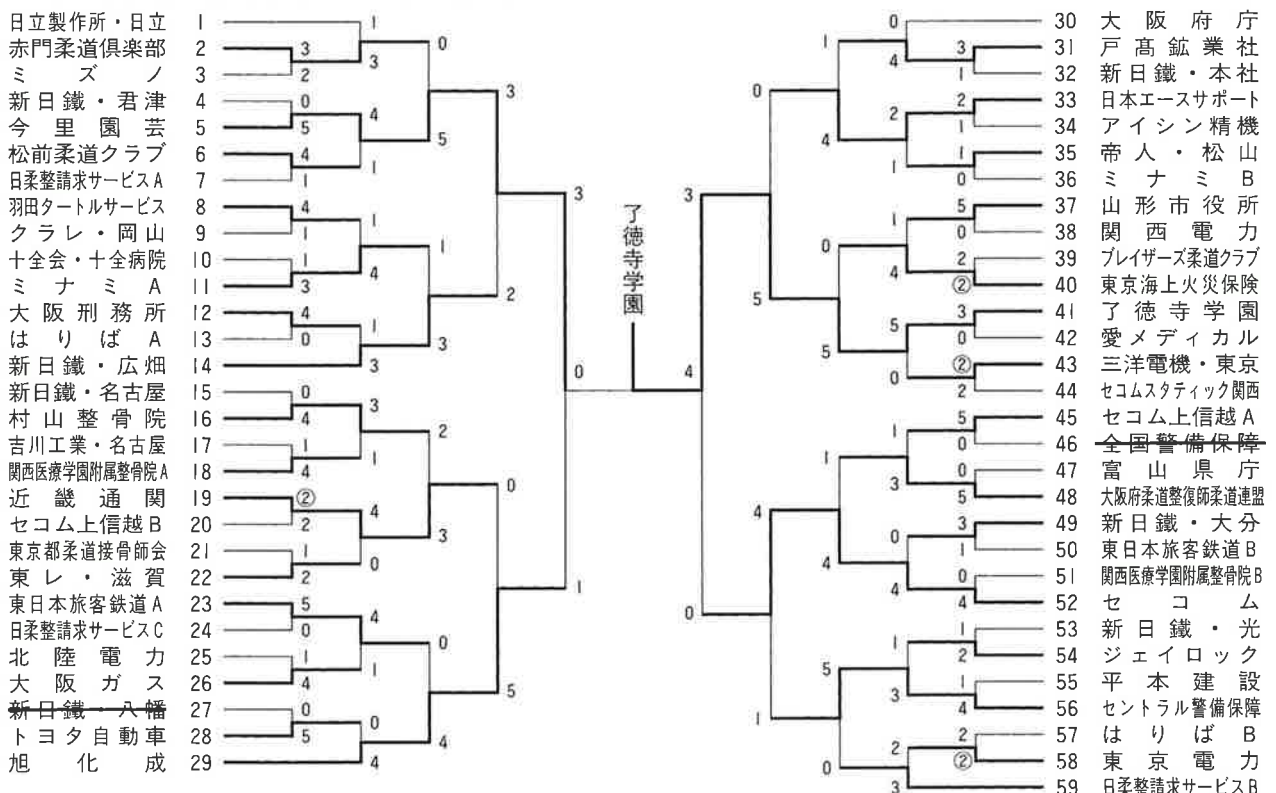
### 男子第三部成績表

優勝	了徳寺学園	第3位	旭化成
準優勝	今里園芸	第3位	セコム

以上の4チームは次年度第二部に昇格する

### 【決勝】

今里園芸	0-4	了徳寺学園		
バンダールゲスト	3段	内股	山田利彦	5段○
森川修次	3段	優勢勝ち	小野卓志	3段◎
今里満	3段	優勢勝ち	野瀬英豪	4段◎
水口清吾	3段	—×—	雑賀俊行	3段
小林広幸	4段	大外返し	岡本栄治	3段○





# 女子第一部

## 無失点で三井住友海上V2

### 世界代表そろえた豪華布陣

リーグ戦で行われた女子第一部は、第一試合のミキハウス対三井住友海上戦が事実上の決勝戦となった。3名引き分けの後、三井住友海上の上野が先制点をあげたが、最後までどうなるか分からない激戦だった。先鋒は両者組み手争いに注意。後半の足技応酬も決め手を欠き、引き分け。

次鋒も茂木が大内、小内で攻めたが、鍛冶の守り固く引き分け。

中堅戦。'99バーミンガム世界女王の前田と上野妹は、前田の右背負いを上野ひじを殺して封じる。上野の左体落としも前田心得て防ぐ。前田さらに巴投げで寝技に誘うが上野さばいて引き分け。

副将上野姉がポイントゲッターの大役を果たした。開始1分、組み手争いの一瞬、左大外刈りを放てば見事に決まって一本。

大將戦も貝山健在で、何度も古賀の左内股をつぶしては寝技で攻め、この展開で終了。

前年は三井住友海上とコマツが全勝対決。今年3-0とケリがついた。世界選手権大会代表を3人（横澤・茂木・上野姉）擁し、その他の選手も日本のトップクラスの選手で占めているだけに、実力的には頭一つリードしている感じがしたが、何がおこるか

分からないのが団体戦。しかし、結果的には実力どおりの展開となった。

#### 優勝監督コメント

三井住友海上火災保険 柳澤 久

実力的には各チームともほとんど差がないと思うが、失点がなかったことと世界代表組が存在感を示してくれたことが勝因だと思う。世界代表組には、ケガを恐れず実戦を重ねて課題を見つけ修正させる方針を貫いた。上野は自分のペースで試合を進めることができたが、茂木は小さい相手に自分も小さくなってしまいう欠点が見えた。横澤は使う予定だったがエントリーの手違いがあり、本人は残念がついていた。岩藤のスピード豊かな積極柔道も大きな収穫であった。



岩藤ガッチリと押え込み先制



女子第一部優勝の三井住友海上火災保険チーム

#### 【優勝までの対戦成績】

##### 第1試合

三井住友海上	1-0	ミキハウス
岩藤理恵 初段	—×—	岡崎綾子 2段
茂木仙子 3段	—×—	鍛冶宏美 2段
上野順恵 初段	—×—	前田桂子 3段
○上野雅恵 3段	大外刈り	中澤ちさ 2段
貝山仁美 3段	—×—	古賀幸恵 2段

##### 第2試合

三井住友海上	4-0	ダイコロ
○岩藤理恵 初段	大外刈り	津野晴美 初段
○茂木仙子 3段	払腰	海下澄枝 3段
○上野順恵 初段	優勢勝ち	柳田恭子 3段
○上野雅恵 3段	小内刈り	野村康代 2段
貝山仁美 3段	—×—	難波友美 2段

##### 第3試合

三井住友海上	3-0	コマツ
○岩藤理恵 初段	上四方固	窪田雅子 3段
茂木仙子 3段	—×—	宝寿栄 2段
○上野順恵 初段	横四方固	谷本育実 2段
上野雅恵 3段	—×—	一見理沙 2段
○貝山仁美 3段	優勢勝ち	松崎みずほ 2段

#### 女子第一部成績表 (リーグ戦)

	ミキハウス	三井住友海上火災	コマツ	ダイコロ	勝(負)分	順位
ミキハウス	△	○	○	○	2勝1敗	2
三井住友海上火災	○	△	○	○	3勝0敗	1
コマツ	○	△	△	○	1勝2敗	3
ダイコロ	○	△	○	△	0勝3敗	4

# 女子第二部

## 松前柔道クラブが逆転初V

9チームが出場した女子第二部は、昨年の覇者セコムと初出場の松前柔道クラブの決勝戦となった。セコムが終始リードしたが、大将戦の時間切れ寸前で松前柔道クラブが奇跡の大逆転を演じ、うれしい初出場初優勝を達成した。

先鋒戦、利根川の一瞬のスキをついて竹林が朽木倒しで技ありを奪う。その後も竹林がポイントを重ね、セコムが先取る。中堅戦は、けんか組手の両者の引き手争い。共にポイントを奪えず引き分ける。

大将戦、体格に優る江口が積極的に攻める。消極的になった森島に指導。終了間際、江口の放った払腰が技あり。そのまま袈裟固に押さえて合わせ技一本。松前柔道クラブ奇跡の大逆転で初優勝を飾る。

### 優勝監督コメント

松前柔道クラブ 岩川 武久

普段は、3人とも積極的に時間をつくって塾の子供たちを指導してくれている。周囲の人達の暖かい支援により3人だけのチームで初出場させたが、層の厚いセコムに勝てると思わなかっただけに、彼女達の頑張りを祝福したい。



女子第二部優勝の松前柔道クラブチーム



江口、終了間際の劇的逆転

### 女子第二部成績表

順位	チーム名	勝	敗	引き分け	ポイント
1	セコム	3	0	0	3
2	関西医療学園附属整骨院	2	1	0	3
3	タカメディカルB	1	2	0	1
4	にしけい	1	2	0	1
5	近大クラブ	1	2	0	1
6	十全会・回生病院	2	1	0	2
7	東洋観光	0	2	0	0
8	松前柔道クラブ	2	2	0	2
9	タカメディカルA	0	2	0	0

優勝 松前柔道クラブ  
準優勝 セコム  
第3位 にしけい  
第3位 十全会・回生病院

### 【準決勝】

セコム 3 - 0 にしけい  
○竹林智美 3段 横四方固 児玉久美 初段  
○齋藤久美子 2段 優勢勝ち 上村美恵 2段  
○中野公洋子 3段 崩上四方固 中尾春菜 初段

十全会・回生病院 1 - 2 松前柔道クラブ  
○藤田智津 2段 優勢勝ち 利根川はつみ 3段  
末吉夏美 2段 上四方固 寺山 茜 2段○  
田代悦子 2段 合わせ技 江口 啓 2段○

### 【決勝】

セコム 1 - ① 松前柔道クラブ  
○竹林智美 3段 優勢勝ち 利根川はつみ 3段  
齋藤久美子 2段 —×— 寺山 茜 2段  
森島直美 2段 合わせ技 江口 啓 2段○

### 「定時総会」開催される

第42回定時総会及び平成15年度理事会は、平成15年5月30日16時30分からリーガロイヤルホテル堺3F春慶の間で開催され、第1号議案から第5号議案について、満場一致で承認された。

第1号議案 平成14年度事業報告

第2号議案 平成14年度収入支出決算

第3号議案 平成15年度事業計画案

第4号議案 平成15年度収入支出予算案

第5号議案 平成15・16年度役員改選



# 第53回全日本実業柔道団体対抗大会歓迎レセプション開催

5月31日(土)18時30分よりリーガロイヤルホテル堺において、第53回全日本実業柔道団体対抗大会歓迎レセプションが盛大に開催された。

当日は、(財)全日本柔道連盟の嘉納会長や地元堺市の木原市長をはじめ、多数のご来賓の方々や、連盟役員、並びに地元関係者など総勢200余名の参加があり、大会の成功を期するにふさわしい盛り上がりを見せた。

オープニングは堺を代表する和太鼓演奏クラブ「飛翔」の演奏で威勢良く賑やかに開始した。阿南副会長の挨拶に始まり、木原堺市長と中井堺市議会議長の歓迎のご挨拶の後、中尾堺商工会議所会頭の乾杯の音頭で祝宴に入った。

祝宴の中では、木村岳尚(大阪岳風会正師範)さんより、柔道の創始者嘉納治五郎師範が説かれた「講道館柔道の心」の詩吟が披露され、ずしりと体に響く格調高いお声を堪能した。続いて、日本を代表するオペラ歌手の橋本佳余映さんによる美しい独唱が披露され、和やかな雰囲気の後には上野堺柔道協会会長の発声による万歳三唱でお開きとなった。



上野堺柔道協会会長のあいさつ



嘉納会長のあいさつ



野村忠宏選手(ミキハウス)

「柔道ルネッサンス」活動をPR  
(財)講道館と(財)全日本柔道連盟では、柔道を通じての人間教育の一環として「柔道ルネッサンス」活動を展開し、各大会でのスピーチを行っています。本大会では、6月1日(日)にアトランタ・シドニー両オリンピック60kg級の金メダリストで、本年9月に行われる世界選手権大会の日本代表選手であります野村忠宏選手(ミキハウス)が、マナーや礼儀についての呼びかけと世界選手権大会に向けての意気込みを述べられ、観客から大きな拍手を浴びていました。

## 2003年 世界柔道選手権大会代表・候補選手(当連盟所属)

### 〔男子〕

60kg級	66kg級	73kg級	81kg級	90kg級	無差別級 100kg級	無差別級
野村忠宏 (ミキハウス)	鳥居智男 (了徳寺学園)	金丸雄介 (了徳寺学園)	秋山成勲 (平成管財)	矢寄雄大 (了徳寺学園)	井上康生 (総合警備保障)	鈴木桂治 (平成管財)

### 〔女子〕

48kg級	52kg級	56kg級	70kg級	無差別級
田村亮子 (トヨタ自動車)	横澤由貴 (三井住友海上火災保険)	茂木仙子 (三井住友海上火災保険)	上野雅恵 (三井住友海上火災保険)	薪谷翠 (ミキハウス)

発行日 2003年7月5日  
発行人 全日本実業柔道連盟  
取材協力 事務局長 郷田博史  
印刷 ジャーナリスト 宮澤正幸  
ダイコク株式会社